

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	都市計画事務【用途地域等照会対応事務】					
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	都市計画	係	課長名 神山 尚

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	4 - 1	-
【施策名】 市街地の整備	総合計画書 (ページ)	83	

予算名	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 1	都市計画総務費	事業 3	都市計画事務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------	------	---------

1 この仕事の目的	<b>① 誰（何）を対象にしていますか。</b> 不特定の市民及び事業者	→	<b>① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）</b> 照会件数
	<b>② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]</b> 建築物の建築等を行う際に必要となる、用途地域等都市計画に関する情報を提供する。	→	<b>② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）</b> 照会への対応実績（照会件数/対応件数）
	<b>③ そのために何をしましたか。</b> 窓口や電話による用途地域等の照会に対し、職員がその場で調べて対応する。	→	<b>③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）</b> 対応件数

2 指標の推移			単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	件	1,863	1,807	1,913	/	/
	成果指標	②の数値	%	100	100	100	/	/
	目 標	②の目標値	%	100	100	100	100	100
	目標値設定の考え方		照会のあった案件について確実に対応する。					
活動指標	③の数値	件	1,863	1,807	1,913	/	/	

3 経費	事業費（実績）		円	0	462,834	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）	
	財源	一般財源		円	0	462,834		0
		特定財源		円	0	0		0
		（うち受益者負担）		円	0	0		0
	人件費 (目安)	所要人数(再任用以外)		人	0.4	0.4		0.4
		所要人数(再任用)		人	0.0	0.0		0.0
職員人件費(再任用以外)		円	3,306,800	3,301,200	3,297,600			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0			
事業費+人件費			円	3,306,800	3,764,034	3,297,600		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。	
	開始時期：不明 開始理由：建築物の建築等を行う際に必要となる、用途地域等都市計画に関する情報を提供するため。	
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし	

仕 事 の 内 容	都市計画事務【用途地域等照会対応事務】					
担当部署・課長名	都市建設部	都市計画	課	都市計画	係	課長名 神山 尚

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	特になし					
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】			
			①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容					
	特になし					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	特になし					
	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）					
	都市計画の情報を正確に提供していく					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等					
	引き続き職員の知識向上に努める					
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。				経費	仕事の経費は維持する。